

茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会の活動紹介

茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会では、市民の皆様から頼られる委員になれるよう、高齢者、障がい児者、児童に対する福祉向上のため、それぞれに関する知識や相談スキルの習得を目指し、各専門部会を設け、活動をしています。その活動をご紹介いたします。

< 高齢福祉部会 >

ここ2年強コロナ禍により部会の活動は大きく縮小や中止になりました。そのような状況下の昨年度は、全体研修会を2回に分けて実施をしました。実施日は7月15日と11月11日です。茅ヶ崎市役所の高齢福祉介護課を中心に、包括支援センターのご協力により開催に至りました。7月実施のテーマは「茅ヶ崎市の認知症についての取り組み」、「介護保険制度について」です。包括支援センターの職員7名で、認知症について理解しやすい寸劇も行っていただきました。11月は、認知症の予防に役立つ「コグニサイズ」を参加者全員で体験しました。

今後部会員は、この研修会で得た学習を、地区活動と担当地域の活動に少しでも生かしていかなければ、幸いです。



< 障がい福祉部会 >

～ 学びたい気持ちを大切に ～

安心安全に活動するために基本はいつも同じです。検温、マスク、手洗い、換気、密にならない等々です。遵守しながら代表者会、役員会を対面で実施しました。事業計画の変更が続く中、障がい福祉部会は知りたい、聞きたい、考えたいと意欲を持って取り組みました。7月に障がい者に対する民生委員の関わり方を、市の障がい福祉課から講師を招いて学びました。9月に発達障がいについてのDVDによる研修会、11月にパラリンピック金メダリストの講師を招いて、心のバリアフリー推進についての講演会を行いました。広い会場の時は他部会の視聴希望者も集まり、出席者は感想文を提出し、まとめを読むことで様々な考え方を知り、更に深い学びとなりました。学びたい気持ちが結集した1年でした。ありがとうございました。



< 児童福祉部会 >

児童福祉部会は、主に児童福祉について主任児童委員と共に教育委員会、家庭児童相談室等々の関係機関と情報交換を行い、こどもの虐待や貧困、ヤングケアラーなどの現状を把握して、各地区の民生委員児童委員、主任児童委員が子育て中の家庭に貢献できる知識を得ています。

< 主任児童員連絡会 >

茅ヶ崎市には各地区2名ずつ、計26名の主任児童委員がいて、0歳～18歳までの子どもや子育て家庭に関する支援活動を行っています。コロナ禍で、小中学校の行事への参加や子育てサロンの開催ができない状況が続いているが、「ここにちは赤ちゃん訪問」のお手伝いは継続しています。これは、生後4か月末満の赤ちゃん（第2子以降）がいるご家庭を訪問し、市の事業や地域の情報を伝えると共に、身近な相談者がいることを知らせる活動です。親子で集って仲間作りをしたり、おしゃべりすることが難しい昨今、気になる事や心配事がある時はお気軽にご相談ください。

民生委員制度創設100周年
記念事業として
「しだれ桜」と「記念プレート」
を市へ寄贈しました

民生委員・児童委員、主任児童委員の活動紹介

新任の民生委員・児童委員として委嘱された当初からコロナ禍に見舞われました。定期的な家庭訪問ができず当惑していましたが、趣味の絵手紙を活かそうと考えました。年賀状、暑中見舞い等、季節毎に30枚程を支援者中心にポスティングしています。何の見返りも期待しておりませんのに意に反し、お返しのハガキや、お電話を頂くようになりました。何だかほんのりと嬉しい気持ちになります。サロンで仲良くなつたご婦人方からも早く再開して欲しいとの要望もあります。私も楽しみにしているサロン、今年はどうなりますか！（鶴嶺東地区 服部功司）



～ 地域に根ざした思いやりを ～

小和田地区には、一昨年6階建て市営小和田住宅外複合施設が新設され、その中に「地域包括支援センター青空」「地区ボランティアセンター」「児童クラブピノキオ」がまとまって入っていて福祉にはとても活動しやすい地域です。保育園も9園と多く、その内4園が最近新設されました。

最近はコロナ禍で定例的な活動が少なくなっていますが、「子育てサロン」の利用者様への電話連絡・チラシ・コロナ対策グッズの配布をしています。

又、地区住民のお母さんからも『自分の子育てがひと段落したので在宅で「子育てサロン」を開設したい』と話があり、こんな時期だからこそ親子の居場所を提供して下さる方がいらっしゃる事をとても嬉しく思います。

これからも出来る限り子育てに役立つ場の情報共有や支援を行っていきたいと考えています。（小和田地区 主任児童委員 加古玲子、徳丸香織）



～ コロナ禍で思うこと ～

昨年、コロナが落ち着いていた頃に、小出コミセンで開催されたコグニサイズに参加しました。

コグニサイズとは、コグニション（認識）とエクササイズ（運動）を合わせた造語です。参加したコグニサイズは、脳と身体の機能を維持向上させ認知機能の低下を抑制するエクササイズです。これが結構難しい。なかなか上手くできず、最後に「イエ～イ」と言って両手を挙げて達成感だけ味わいました。

「イエ～イ」と皆で叫んだ時、会場は笑いに包まれていました。

